



たんせいの四季

太子東中学校だより

No. 209

2025. 4. 22 (火)

校長 大西 一夫

「変わらない思い」

新年度が始まり、2週間が経ちました。新しいクラス、新しい友だち、そして新しい毎日。少しずつ、学校生活のリズムにも慣れてきたころかと思います。157名の新生を迎え、今年度の太子東中学校は全校生徒511名となりました。この仲間たちと一緒に、みなさん一人ひとりが成長し合える時間を私もとても楽しみにしています。

さて、そんな新しい毎日を始めるにあたって、ぜひ知っておいてほしいものがあります。それが、本校の「校訓」です。校訓とは、学校が大切にしている考え方や、どんなふうに生きていってほしいかをあらわした言葉です。いわば、その学校の“心の道しるべ”のような存在です。学校生活の中では、楽しいことばかりではありません。うまくいかない日もあれば、人間関係に悩むこと、進路に迷うこともあるでしょう。そんなときに、自分の気持ちや行動を見つめなおす“ヒント”や“よりどころ”となるのが、この「校訓」です。

本校には、「聖徳の和」「太龍の志」「丹生の力」という3つの校訓があります。

「聖徳の和」は、お互いを認め合い、思いやりをもって助け合う心。違いを受け入れ、やさしさでつながる関係を大切にしましょう。

「太龍の志」は、校歌にもあるように自分の夢や目標を高くもち、努力を重ねる気持ち。たとえまだ夢がはっきりしていなくても、小さな挑戦を積み重ねていくことが大切です。

「丹生の力」は、困難に負けず、粘り強く前へ進む力。毎日の坂道登校のように、コツコツとがんばることで、心も体もたくましく育っていきます。

これら3つの言葉は、先輩たちも大切にし、太子東中の中で育まれてきた“変わらない思い”です。これからのみなさんの学校生活にも、きっと大きな支えになるはずです。ふとしたときに思い出しながら、自分らしい毎日を積み重ねていってください。



正面玄関に掲げられた校訓